

第17号

ひたちなか市文化協会会報「白亜紀」

# 白亜紀



ひたちなか市文化協会

題字 白亜紀 河野 秋月

由来 砂岩とシルト岩が互層を呈する7千5百万年前の中生代白亜紀の地層。白亜紀の岩に波の碎けるさまは悠久の命を感じさせる。文化芸術を創造し、享受し、文化的な環境の中で生きる喜びを見いだすことは、人々の変わらない願いである。人生は短く、芸術は永し、ひたちなか市文化協会の目指すものは悠久の芸術そのものである。

市内中根の虎塚古墳は、7世紀の前半頃に造られたとされる前方後円墳です。  
昭和48年9月、石室内に保存状態の良い彩色壁画が発見されました。前年発見された高松塚古墳(彩色壁画)に続いての発見のため、当時かなり評判となりました。そのため翌年1月には国の史跡に指定され、公園化されました。  
その後、昭和55年に公開保存施設が完成し、現在でも春と秋に石室壁画が一般公開されています。高松塚古墳に比べ、公開が続いていることは特筆すべきことです。  
公園内には、地元関係者からの記念樹のケヤキや桜が植えられています。45年が経過した今、静かなたたずまいの中で、見事な花を咲かせています。

写真と文 「虎塚古墳の春」 羽田 昭男

市内中根の虎塚古墳は、7世紀の前半頃に造られたとされる前方後円墳です。  
昭和48年9月、石室内に保存状態の良い彩色壁画が発見されました。前年発見された高松塚古墳(彩色壁画)に続いての発見のため、当時かなり評判となりました。そのため翌年1月には国の史跡に指定され、公園化されました。  
その後、昭和55年に公開保存施設が完成し、現在でも春と秋に石室壁画が一般公開されています。高松塚古墳に比べ、公開が続いていることは特筆すべきことです。  
公園内には、地元関係者からの記念樹のケヤキや桜が植えられています。45年が経過した今、静かなたたずまいの中で、見事な花を咲かせています。

目次

会長あいさつ	1	伝統芸能部門	
文化活動の更なる発展を目指して	1	邦楽連盟	12
平成30年度活動報告	1	吟詠剣詩舞連盟	13
活動報告	1	民謡民舞連合会	13
総会	2	伝統文化連盟	14
芸術祭	2	華道・茶道部門	
一日体験教室	2	華道連合会	14
春の祭典	4	茶道連合会	15
団体の活動紹介	6	文学部門	
美術部門	6	俳句連盟	16
美術協会	6	棋道部門	
書道連盟	6	囲碁連盟	16
陶芸協会	7	文化協会組織図	17
写真連盟	8	編集後記	17
音楽部門			
合唱連盟	8		
市民吹奏楽団	9		
市民オーケストラ	9		
ジャズ連盟	10		
舞踊部門			
舞踊連盟	11		
洋舞踊協会	11		



「春の祭典」より  
華道連合会(小原流)による迎花



# 文化活動の更なる発展を目指して

ひたちなか市文化協会

会長 初見 宗郷

30年度芸術祭は、10月7日のいけばな展を皮切りに、21事業が滞りなく開催され、無事終了しました。今年度も、各団体の芸術祭に取り組む情熱と会を盛り上げる工夫が随所に見られ、毎年レベルの向上が図られた素晴らしい発表会・展示会でありました。そして、『春の祭典』も13回目を迎え、各団体の特徴ある演奏・演技・作品が披露され、あらためてひたちなか市の文化の高さを感じたものでした。

また、『二日体験教室』ですが、今年度で3回目を開催することができました。今回は、8月初めの日曜日に開催するとともに、過去最高の15のジャンルの体験内容となり、約650名に体験していただきました。この一日体験教室は、毎年続けることにより、多くの新しい仲間が増えることを期待してはいますが、多くの方々に体験していただき、それぞれの団体の存在を知ってもらうだけでも価値があると思っています。

このように文化協会としてもいろいろな事業を企画してきましたが、この5年間において、文化協会の会員数が1割減の約250名減少していますので、もろ手を挙げて喜んでいられません。団体によって減少数は異なりますが、会員の高齢化が進む中で、若手の入会が少ないのが最大の要因と思われる。

若手に入会を勧めるためには、まず文化協会の存在を知ってもらうことが大切かと思えます。そのためには、文化協会のホームページ等を公開し、各団体の紹介・活動日程などをタイムリーにお知らせすることも一つの対策かと思えます。更に、文

化協会として前述の「一日体験教室」のような子供たち向けの事業を学校向けに展開し、次世代継承の礎を築く時期に来ているのではないかと考えています。また、団体特有の要因もあると思われしますので、各分野独自の会員増員策を積極的に行っていくべきだと思います。

更に、新しい団体の加入による会員の増加も重要でありますので、ひたちなか市で活躍している団体へ、文化協会所属の利点などを紹介して積極的に勧誘することも重要と思えます。

最後に、これらの課題は、団体として充実している時期に見られるもので、足腰のしっかりしている今の時期に早めに総合的な対策を施していくことを肝に銘じて、2019年度を迎えたいと想っています。

最後に、これらの課題は、団体として充実している時期に見られるもので、足腰のしっかりしている今の時期に早めに総合的な対策を施していくことを肝に銘じて、2019年度を迎えたいと想っています。

最後に、これらの課題は、団体として充実している時期に見られるもので、足腰のしっかりしている今の時期に早めに総合的な対策を施していくことを肝に銘じて、2019年度を迎えたいと想っています。

最後に、これらの課題は、団体として充実している時期に見られるもので、足腰のしっかりしている今の時期に早めに総合的な対策を施していくことを肝に銘じて、2019年度を迎えたいと想っています。

最後に、これらの課題は、団体として充実している時期に見られるもので、足腰のしっかりしている今の時期に早めに総合的な対策を施していくことを肝に銘じて、2019年度を迎えたいと想っています。

最後に、これらの課題は、団体として充実している時期に見られるもので、足腰のしっかりしている今の時期に早めに総合的な対策を施していくことを肝に銘じて、2019年度を迎えたいと想っています。

## 平成30年度 活動報告

4月13日

・理事会  
ふあみりこらぼ

4月26日

・会計監査  
ふあみりこらぼ

5月11日

・理事会  
ふあみりこらぼ

5月25日

・30年度総会・懇親会  
クリスタルパレス

7月20日

・理事会  
ふあみりこらぼ

8月5日

・一日体験教室  
市文化会館

9月27日

・編集委員会  
ふあみりこらぼ

10月7日

・芸術祭開催

10月12日

・理事会  
ふあみりこらぼ

1月11日

・理事会  
舞台部門会議  
市文化会館

2月10日

・春の祭典  
市文化会館

# 総 会

## 平成30年度 ひたちなか市文化協会総会

日 時 30年5月25日(金)  
午前10時30分から  
会 場 クリスタルパレス長寿荘  
出席者 51人 欠席者 1名  
委任状 13人(構成員 65人)  
議 長 榎 和美氏(合唱連盟)  
司 会 西野 香葉氏(書道連盟)

本年度の総会は、西野氏の司会進行で開催され、初見会長の挨拶で開始、来賓の本間源基市長よりご祝辞をいただきました。

議長に榎氏が選出され議事に入り、29年度事業実績、収支決算および決算監査の報告があり、それぞれ承認されました。

議案の30年度事業計画、収支予算、および理事の承認については、原案通り承認されました。

役員改選では、理事会の決定に基づき正副会長留任で承認され、監事には、宮内慶樹氏(市民吹奏楽団)・清水豊正氏(華道連合会)を選出し承認されました。



初見会長の挨拶



舞踊連盟アトラクションより ー 俚奏楽 常陸三葉草 ー

なお、顧問として8年間務められた仲田昭氏が辞任されたことや、ジャズ部門の「パープルウィンドジャズフレンズ」が新入会のため、ジャズ部門を連盟化し、これにより団体名「Bトレイン」から「ジャズ連盟」へ変更となった事を報告しました。総会終了後、舞踊連盟(岩井友紀門下)の3人による素晴らしい踊りを披露していただき、美しいしぐさに魅了されました。三葉草は徳川家の家紋「三つ葉葵」をイメージしたとのことです。

## 芸術祭日程

10月7日	吟詠剣詩舞大会(第49回勝田支部)
10月7~8日	いけばな展
10月14日	市民オーケストラ第37回定期演奏会
10月16~21日	美術展覧会(書道・絵画・彫刻)
10月25~26日	市内小中学校音楽会
10月28日	日本舞踊公演&舞踊まつり
10月30日	美術展覧会(写真・陶芸)
10月30日	5~11月4日
11月3日	第48回民謡民舞まつり
11月3日	吟詠剣詩舞大会(第67回那珂湊支部)
11月11日	茶道連合会茶会
11月18日	第38回邦楽連盟三曲演奏会
11月18日	俳句大会
11月21~25日	児童生徒作品展
11月25日	ふるさとの伝統芸術文化鑑賞会
12月2日	合唱祭
12月9日	バレエ&ジャズダンスフェスティバル
12月16日	市民吹奏楽団第34回定期演奏会
12月23日	Bトレイン26周年コンサート
1月20日	第9回子ども伝統文化フェスティバル
1月20日	市民囲碁大会
2月10日	文化協会総合発表会

「第13回 春の祭典」

芸術祭は、市民の芸術文化の振興と育成、向上を目的に開催しております。日頃の活動の成果を、一年間の集大成として市民の皆様の前で発表しており、各会場に来場された多くの方が楽しい一時を過ごされたのではないのでしょうか。

## 美術展覧会上位入賞者

【写真】	【陶芸】	【書道】	【絵画】
市長賞(特賞) 議長賞(優賞一席) 教育長賞(優賞二席) 市長特別賞(委嘱出品) 市長特別賞(委嘱出品)	市長賞(特賞) 議長賞(優賞一席) 教育長賞(優賞二席) 市長特別賞(委嘱出品)	市長賞(特賞) 議長賞(優賞一席) 教育長賞(優賞二席) 市長特別賞(委嘱出品)	市長賞(特賞) 議長賞(優賞一席) 教育長賞(優賞二席) 市長特別賞(委嘱出品)
秋演 雄一	石田 寧	川野 暉	江幡 昭
佐藤 秀樹	根本 昭一	大内 惟彦	溝口 勝也
	松本 瑛子	藤原 里香	田崎 敏雄
	筑後 弘夫	松本 瑛子	鎌田 理絵
	松本 瑛子	高澤 玉園	伊藤 紫扇
	松本 瑛子	新國 晁光	新國 晁光
	松本 瑛子	高澤 玉園	高澤 玉園
	松本 瑛子	川野 暉	川野 暉

## 楽しく学ぼう芸術文化 一日体験教室

8月5日(日) 文化会館

3回目の今回は、15種目と多く、様々な芸術文化に触れることができるイベントとなり、小さな子どもから一般の方まで大勢の方々に体験して頂き、有意義な開催となりました。絵画や書道では、夏休みの課題に挑戦したり、また、日頃体験のできないことに熱心に挑戦されていました。特に次世代を担う子ども達に、芸術文化に親しむ機会をお手伝い出来ればと考えております。体験の様子は写真をご覧ください。

一日体験教室の様子

陶芸

邦楽(箏)



民謡(太鼓)

囲碁



絵画

オーケストラ



いけばな



タップダンス

クラシックバレエ



吹奏楽

日本舞踊



合唱

書道



伝統文化(大正琴)



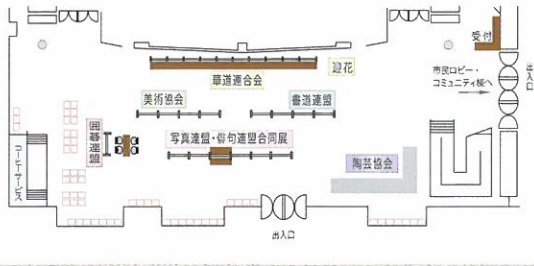
スタジオ撮影

平成31年 2月10日(日) ひたちなか市文化会館 10時開場

舞台部門プログラム(大ホール) ※開始時間は予定の時間です。

市民吹奏楽団	10:30～	「そして未来へ」「西郷どん」
市民オーケストラ	10:50～	「魔女の宅急便」より「海の見える街」交響曲第9番「新世界より」第2楽章
合唱連盟	11:10～	【合歓の会】による「母の手」「たとえば君が歌うもの」「川の流れのように」他
邦楽連盟	11:30～	【小林久子中他】による 箏曲「北海民謡調」
ジャズ連盟	11:50～	【Bトレインジャズオーケストラ】による「A列車で行こう」他
休憩	12:10～	
主催者あいさつ	13:05～	大谷 明 市長 初見 宗郷 会長
伝統文化連盟	13:20～	かぐや姫「竹取物語」より
吟詠剣詩舞連盟	13:40～	構成吟「春來たりて春を舞う」
舞踊連盟	14:00～	日舞で綴る民謡メドレー「江差遍分」「正調博多節」「磯節」他
洋舞踊協会	14:20～	【エリザベススタジオ】による フラダンス「カナオノイブア」他
民謡民舞連合会	14:40～	民謡民舞芸術祭優秀者の発表
茶道連合会	15:00～	表千家「茶席」

展示部門(大ホールホワイエ) 10:00～16:00



【展示部門の様子】



市文化協会の総合発表会「春の祭典」が、2月10日(日)、市文化会館において盛大に開催しました。前日の雪が心配でしたが、当日は天候に恵まれ、開場前から多くの人でにぎわいました。

春の祭典は、加盟団体が一堂に会して日頃の成果を発表する協会最大のイベントです。各団体の舞台発表や作品展示は、回を重ねるごとに素晴らしく、今後も、ぜひ多くの皆様にご来場いただきたいと思ひます。

第13回 春の祭典

【舞台部門の様子】



市民吹奏楽団



市民オーケストラ



合唱連盟

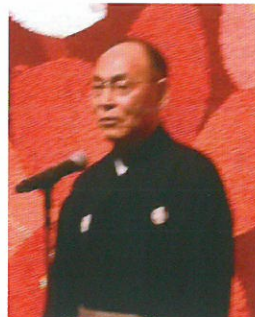


邦楽連盟

Bトレインジャズオーケストラ



【主催者挨拶】



初見 宗郷 会長



大谷 明 市長

伝統文化連盟



展示部門

舞踊連盟



洋舞踊協会



吟詠剣詩舞連盟

民謡民舞連合会



茶道連合会

# 美術部門

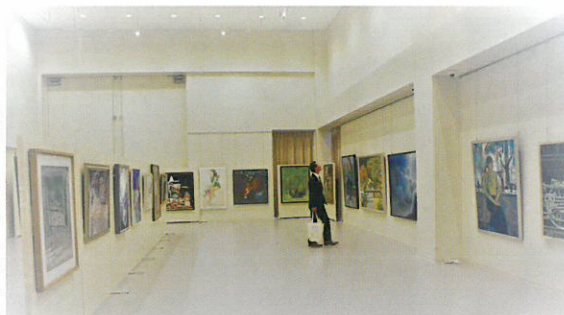
## 美術協会の活動状況

美術協会会長 横須賀 幸正

美術協会は人物研修会を6月30日にふぁみりこらぼの会議室を会場として、モデルをよび会員9名で実施しました。美術協会では毎年、年2回夏季と冬季人物研修会を実施しています。人物画をテーマにし、作品を発表している会員もいるし、力を付けるためには人物研修は欠かせませんが、なかなか都合が付かず参加出来ない会員もいます。

12月には、風景画研修会(写生)も実施しました。

第19回美術協会展を11月10日(土)〜23日(金)の14日間、4月に新庁舎が完成した那珂湊支所の展示室で実施しました。会場は天井が高く照明も照度調整が良く、どこに置いた作品にも適切な照明があり全体が大変見やすかったです。お陰様で



美術協会展風景(那珂湊支所の展示室)

人物研修会風景

会期中の来観者数は約800人以上ありました。

なお、会場が市役所の施設でもあり市報ひたちなか(広報誌)にも掲載頂き感謝です。なかなか文化芸術に対し市民は反応が鈍くなりがちですが、市政と一緒に文化の発展に貢献出来るよう続けて参ります。

### 年間行事の中から

書道連盟会長 長山 素龍

#### 【書道連盟の行事】

- ・ 第43回連盟展併催学生展 4月25〜30日 市民交流センター
- ・ 甲骨文書道体験教室 5月20日 東海中丸コミセン
- ・ 一日体験教室 8月5日 市文化会館
- ・ 市芸術祭美術展 10月16〜21日 市文化会館
- ・ 研修旅行(11月18日 日帰り) 筑波宇宙センター〜戸定邸・歴史館
- ・ 文化協会春の祭典 31年2月10日 市文化会館

① 研修旅行  
2つの行事をピックアップしました。

研修旅行は、29名が参加して午前中は、筑波宇宙センターへ。ここは人工衛星の開発、宇宙飛行士の養成などを行い、日本の宇宙開発の中核を成している。これまでに打上げたロケットやその内部まで見学ができた。有意義であった。

午後、松戸市にある戸定邸とその歴史館へ。戸定邸は水戸藩第10代藩主の徳川昭武が晩年住んだ純和風の建物。明治初期に建てられた徳川家の住まいがほぼ完全な形で残っているのはここだけという。昭武は江戸幕府第15代將軍徳川慶喜の弟で、次の將軍の最有力候補となっていた人物である。邸は部屋数が23あり、それぞれに意味を持っているという説明が興味深かった。

歴史館の中では昭武の子供時代の書や古文書、趣味としての写真などをたくさん展示しており、昔の人の筆力や活力に感心させられた。戸定邸と歴史館とも研究員のK氏からのわかり易く詳細な説明に感動し、最後は盛大な拍手をもってお礼に変えた。

この一日、現代最先端技術と歴史的戸定邸、新旧両面に接することが



① 研修旅行参加者  
(戸定邸前で)



② 甲骨文の書き方を  
体験する25名の参加者



多くの鑑賞者で賑わった  
第43回連盟展



できたことは、記憶に残るいい研修旅行となった。

## ② 甲骨文書道体験教室開催

昨年行った文化協会主催の一日体験教室時視察に來られた東海村書道連盟からの依頼があり、長山他3名が東海村に向いて実施した。(参加者数25名)

甲骨文は、漢字の始まりの象形文字、亀の甲羅や動物の骨に刻まれた文字である。初めに書き方の基本を書きながら説明し、参加者全員に書いてもらった。まだ日本ではなじみみのうすい文字だが、参加者一同熱心に興味を示してくれた。

## 私の第2の人生

陶芸協会会員

桜井 栄

陶芸協会が昭和53年に創設されて今年で40年が経ちました。

私は陶芸協会に加入してから12年が経ちます。趣味のない私に娘が「退職してから何をするの」と言いワークプラザの陶芸教室に誘ってくれたのが陶芸を始めるきっかけでした。今では大好きだったパチンコも

やりたいとも思わず、時間があればアトリエ(1坪の物置小屋)に籠り急須や大皿等、陶芸に嵌<sup>はま</sup>ってしま



祝い大皿(45cm×45cm)

いろいろな作品を作っています。作品は写真を撮り、使用した粘土・釉薬・作陶方法を記録し、再生できるように注意事項を記録し、今では記録ノートが3冊になりました。最近は県の芸術祭にも出品できるくらいになりました。今年で71歳。90歳になるまで頑張ろうと思っています。

ただ気がかりなのが陶芸室で、何十年も経っているプレハブの建物であちこちで雨漏りし窓ガラスの隙間からは風が入り、また焼成窯は使用頻度が多く老朽化しております。陶芸協会員は現在70名ですが最盛期に

は120人が所属しておりました。しかし過去2年間は入会がありません。

陶芸協会では主催事業として毎年レッツ土曜陶芸講座や出前講座を実施しております。また、会員を対象に現在県内で活躍している陶芸家を講師に招き、毎年技術講習会を開き作陶の技法や知識を研鑽しております。1ヶ月に15日程の自主活動教室が開催されており、会員は自由に壺・皿・動物・人形等を作陶しております。興味のある方は陶芸室へぜひ見学におこしください。



技術講習会風景

## 創立20周年年度の事業概要

写真連盟事務局長 羽田 昭男

写真連盟は、今年創立20周年を迎えましたが主な事業概要報告します。

### ① 創立20周年記念式典・写真展

文化会館 (H30/3/17(土)~24(土))

#### 【式典・懇親会】

3月17日(土)作品展示終了後、文化会館Swingにおいて記念式典・懇親会を開催しました。当日は会員をはじめ来賓として市及び文化協会関係者、姉妹都市である那須塩原市文化協会黒磯支部の関係者など36名が出席、節目の年を祝いました。

#### 【写真展】

会員のこれまでの作品の中で、20周年に最も相応しい作品を自ら選んで展示することとし、会員39名がA0からA3ノビの力作を出品、那須塩原市文化協会黒磯支部5名の方々の招待作品を含め総数107点の作品を展示しました。

特に最終日のギャラリートークには、県内各地から多数の方々にご来場いただき活発な意見交換が行われ、盛況裏に幕を閉じることが出来ました。



喜多方・裏磐梯撮影会  
五色沼での集合写真

創立20周年記念写真展  
ギャラリートークの様子



② 喜多方・裏磐梯撮影会(10/24(水))  
恒例の秋の撮影会は16名が参加し、晩秋の福島県喜多方市と裏磐梯を訪ねました。当日はあいにくの小雨模様でしたが、皆さんそれぞれ作品創りに努め、バスの中の親睦を深めました。

## 音楽部門

### 歌の翼に乗って

#### 合唱連盟

コールまえわたり 一色 香世子

前渡小学校のPTAコーラスとして発足。やがて『コールまえわたり』と改称、前渡公民館の自主活動団体として活動してきました。以来40年メンバーの入れ替わりはありますが、1ヶ月に3回の練習を欠かさず続けてきています。

もともと演奏会やコンクールへの参加はしない方針でいたのですが、コールまえわたりになって10年目に一念発起、平成10年6月初めての演奏会を開きました。小さなホールでしたが、立見の方が出る程で一同感激しました。その後「スイートピー」との合同で二度、市文化会館大ホールの舞台上に立ち、積み重ねた練習の成果が出たものかどうか不安は残るものの、達成感に満たされたものです。

そして平成最後の夏8月26日、「健康に被害を及ぼすという程の暑さ」と言われるほどの猛暑の中、市内のホテルの宴会場をお借りして、『すぎゆく夏のハーモニー』と題してコンサートを開きました。指導者の加藤正子



コールまえわたり コンサート

『すぎゆく夏のハーモニー』平成30年8月26日 ホテルクリスタルパレス



先生が喜寿を迎えられたお祝いにと  
たいと計画したものです。全4ステ  
ージで構成し、20曲近くを全て暗譜  
で演奏するのは大変でしたが、ホー  
ムコンサートのような和やかな雰囲  
気にしたいと考え、聴いている人も  
一緒に口ずさみたくなるような歌も  
散りばめて全力で歌い切ることがで  
きました。少人数で団員の年齢も上  
がってきていますが、まだまだ元氣  
で歌い続けてゆきたいですね。

## 活動紹介

### 市民吹奏楽団

事務局長 宮内 慶樹

当団では、12月16日(日)に「第34回  
定期演奏会」を市文化会館大ホール  
にて開催しました。

今回の第1部は、「世界をまわ  
る」をテーマに選曲をしました。ア  
メリカ、日本、スペイン、それぞ  
れの国をイメージした曲を演奏し、第  
2部は、吹奏楽界の巨匠と呼ばれる、

アメリカの作曲者「アルフレッド・  
リード」特集の演奏を行いました。

その他の活動は、4月のスプリ  
ングコンサート・水戸矯正展・ふあ  
みこらぼまつり・平磯コミュニティ  
センター祭り・西山荘秋祭り・結  
婚披露宴での演奏や、市内小学校へ  
の楽器指導、11月に開催されました  
茨城県内の吹奏楽団(20団体)が集  
まったの市民バンドフェスティバル  
にも参加し演奏して来しました。

また、今年1月13日(日)に、ひたち  
なか市『成人の集い』実行委員より  
昨年度に引き続き演奏依頼を受け、  
新成人4名の方と「あまちゃんオー  
プニング」、「Let it Go」  
ありのまままで、「恋」、「栄光の  
架橋」の4曲の演奏致しました。

こうした活動は、市民の皆さんや  
同じ吹奏楽で活動している方との貴  
重な交流を深める場でもありますの  
で、来年度も団の演奏会以外にも、  
依頼・慰問演奏や小学校への楽器指  
導なども継続して活動して行きたい  
と思っています。

最後になりますが、ここまで活動  
を続けてこられたのも、市文化協会  
のご支援やご協力があつたからだ

思います。心より、感謝申し上げま  
す。

これからも聴いて下さる皆様が笑  
顔になる演奏や、市民の皆様にあ  
いさめられるバンドを目指して活動していき  
ますので、市民吹奏楽団をよろしく  
お願いします。



第34回定期演奏会より

## 市民のためのオーケストラとは

市民オーケストラ

副団長 鈴木 恭介

なかなか市民に認知されない当団  
ですが、それでも創立から38年目を  
迎えるに至りました。毎年ご来場く  
ださる熱心なファンがいらつしやる  
ことも大変な励みです。

ここ数年の傾向としては、皆さん  
がよくご存じの曲を中心にプログラ  
ムするように心がけています。今年  
度のプログラムとしては、メインに  
ベートーベンの交響曲第6番「田  
園」、中プロにグリーグのピアノ協  
奏曲を選びました。どちらも有名な  
曲です。知っている曲を聴くのは心  
地よいものです。では、有名な曲ば  
かりを演奏するのが市民の文化向上  
につながるのでしょうか。時々、演  
奏会後に聴きにいられたお客様から  
お叱りの電話をいただくことがあり  
ます。内容は「知らない曲ばかりだ  
った。」ということ。クラシッ  
クは作曲年代も幅広く、クラシッ  
クファンでも特定の年代を好んで聴か  
れる方もいらつしやいますので、全



第37回定期演奏会の模様

ての方に好まれる曲を探すのは、なかなか難しいものです。また、有名だけれども知らない曲というのも結構たくさんあるものです。

そこで、私たちからの提案としては、文化向上のベースアップとして、知らない曲も積極的に聴いてみるというのはいかがでしょう。「聞いたことはいかどいい曲だった。」という、そんな曲に巡り合うことも

音楽を聴く楽しみの一つではないでしょうか。

そういう意味も込めて、前プロには「ヘンゼルとグレーテル」序曲を入れてみました。知らないけど聴いて心地よい。そんな気分になったのではないのでしょうか。

### まだまだ遠い道のり

#### カーネギーホール

Bトレイン・ジャズ・オーケストラ  
ベース・トロンボーン担当 八鍬 敏浩

10数年前、私の娘、息子の通う小

学校の音楽鑑賞会で、ピンクのジャケット姿でカッコ良くジャズを演奏するおじさん達、それが私のBトレインとの出会いだ。小学生達が大喜びして演奏を聴いている姿を見て、自分もやってみたいと感じた。演奏者の中に私の知人の顔もあって、その伝で参加するきっかけとなった。が、しかし、見聞きするのとは自分でやってみるとでは大違いで、そ

れまで20年以上吹奏楽でトロンボーンを演奏し続けてきた経験があっても、ジャズは手も足も出ない。譜面に書かれている音符の形はブラスバンドのそれと殆ど変わらないのに、リズムの乗りや奏法が全く違うのだ。音を出すたびに周囲の皆との違和感に悩んでいた。それでも見様見真似で続けているうちに、なんとか感覚がつかめてきて、演奏を楽しめるようになってきた。

静かな会場で奏でる吹奏楽やブラスバンドとは違って、会場が盛り上がりれば盛り上がるほど演奏に熱が入るステージになるし、イベントによつては客席とステージが密接し、一体感のある演奏ができるのもビッグバンドの楽しみでもある。

1年を通じて、それぞれのバンド自慢をし合うフェスティバルが日立と笠間で行われ、七夕まつりや灯籠まつりのような観客と奏者の交流が図れるイベントなど、協会の発表会や自己主催の定演と合わせてBトレインと触れ合う場が数多くあるので是非、私達のステージをご覧あれ。恥ずかしながら、リズムの乗り方がブラスバンド風で中途半端でスイ

グしていないジャズの演奏が聞こえてきたら、それが私。ただ笑って聞き流していただければありがたい。

「いつかはカーネギーホールで！」がBトレインの合言葉である。

まだまだ道のりは遠いのはあるが、会場の皆様に喜んでいただき、一緒に盛り上がって、客席とステージが一体となるような演奏ができれば、そこも私にとつてのカーネギーホールであることは間違いない。



第26回定期演奏会にて

# 舞踊部門

## 30年度市芸術祭参加

舞踊連盟

若柳 恵吾

芸術の秋、菊花満開の10月28日(日)市文化会館大ホールに於いて開催されました。

例年同様に開場11時30分、開演時間を12時として幕を開けました。古典舞踊18番、舞踊まつり6番、体験こども教室2番、中でも子ども達の櫻さくら・蓬菜の演技には1年間の成果が発揮出来たと自負しておりますが、是に満足する事なく次のステップへ走り出しました。演目も応援の拍手でスムーズに進行し最後に連

盟企画演目として日舞で綴る民謡メドレーと題しまして全国を代表する江差追分、正調博多節、天龍下れば、くの出演者が、ひえつき節、磯節で幕を下ろしました。各団体のテーマに沿ったダンスを披露し、今年も5団体から総勢200名近い観客の溜息が聞こえました。又、ジャズダンスならではのシャープでクールなダンスや、華やかなステージはもちろんです、小さな子ども達のダンスには拍手も一段と大きくなりました。



こども教室 - 長唄 蓬菜 -



こども教室 - 組曲 春の弥生・櫻さくら -



日舞で綴る民謡メドレー

第41回を迎えた今年の市芸術祭も盛大な拍手の中、無事に幕を下ろしました。

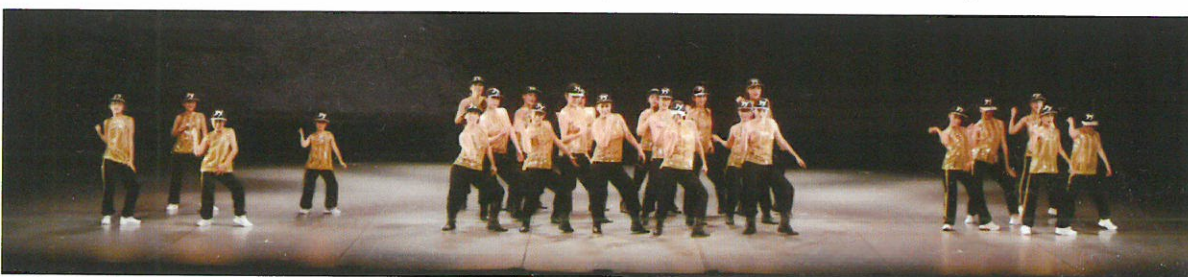
洋舞踊協会会長 及川 英美子

バレエ&ジャズフェスティバル

ひたちなか市は「芸術の街」と言われる様に、若人は指導者を目指し、高年齢者も身体と頭を使い生涯現役で過ごせます様、微力ながらお手伝い致しますので、入会をお待ちしております。

日本舞踊の発展を願い各流、社中一同、次世代に引き継ぐために精進致しますので更なるご声援をお願い致します。

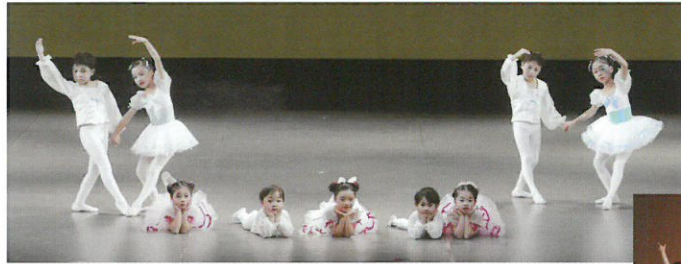
又、ジャズダンスならではのシャープでクールなダンスや、華やかなステージはもちろんです、小さな子ども達のダンスには拍手も一段と大きくなりました。



スタジオマービン 「Bruno Mars Mix」



ハレルヤバレエ  
「くるみ割り人形」



高木バレエ  
「ピーターラビット」

▼ エリーダンススタジオ  
「The Flintstones」



ハレルヤジャズダンス 「パキータ」



恒例のトリを飾るのは「くるみ割り人形」です。今年はミュージカルを思わせる豪華な構成で観客を魅了しました。新しい年を迎え洋舞踊協会も更なる前進を目指します。

## 伝統芸能部門

### 畳の上の文化

#### 邦楽連盟

大須賀社中 大須賀 佳緒里

平成17年に邦楽連盟に加入させていただきました。当初はほとんどが大人ばかり、子供は数名しかおりませんが、近年は親子で参加するケ-

スが多くなり、今年度は過去最大の会員数までに成長いたしました。着物で演奏する子も出て来て嬉しい反面、大人数一人ひとりがこの大きな楽器を持ち運び、管理する大変さも痛感しております。

また同時に「この伝統文化を通して子供達に伝えたいことは何か」を考えさせられるようになりました。昔は「お行儀見習い」の一環として、「きちんとした子に育って欲しい」という親御さんの願いがお稽古事の大前提にありました。「礼」という作法は、どこに出しても恥ずかしくない「一生の財産」になることを、昔の大人達はわかっていたのでしょう。「幸せになつて欲しい」という愛情溢れた環境の中、師匠や姉弟子から様々な事を教わったものでした。

日本の住宅から畳が消えつつある今日、ここでもしか習えない「畳の上のお作法」に、若い親御さん達は価値を見出してくれているように思います。凛とした姿勢でご挨拶する姿は、実に清々しいものです。子供達を教えていると、自分が周りの大人達にいかにか愛されて育ったのかをしみじみと感じさせられます。「順送り」という言葉がありますが、自分

も同じように子供達や若い親御さん達には愛情を持って接したいですし、美しい姿勢を身に付け、人生を一段と輝かせて欲しいと願ってやみません。

日本の環境が大きく変わりつつある現在、邦楽も転換期にさしかかっています。運搬やセッティングが困難な楽器だけに、仕事と子育てで忙しい若世代の負担を少しでも軽減すること、皆様のご理解をいただくことが、この文化を伝承する上で今必要な課題である気がいたします。先祖から伝わってきた「和の心」を大切に、これからも次の世代を大事に育てて行きたいと思っております。



平成30年市芸術祭  
「さん・さん・さくら」



市芸術祭ジュニアの部「落梅」

### 今年度の芸術祭参加大会

吟詠剣詩舞連盟

常任理事 島田 悟郎

#### 【第49回勝田支部大会】

勝田支部は、秋深まる10月7日(日)市文化会館小ホールにて開催された。第1部は一般吟詠(幼少年・構成吟「楠公を讃える詩歌」等含む)・剣詩舞。第2部は一般吟詠・式典(市民憲章朗読・初見宗郷会長よりご祝辞)・剣詩舞。第3部は一般吟詠・招待吟詠・合吟コンクール・前年度のコンクール優勝チームの模範

吟詠・役員吟詠と続き、予定されたプログラム時間通り、盛況の内に終了しました。

#### 【合吟コンクールの結果】

- 1位 岳風会吟窓会
- 2位 岳風会晃法会女子
- 3位 岳風会晃法会男子
- 4位 岳謙会やよい支部
- 5位 岳謙会勝田西支部



勝田支部大会の様子

#### 【第67回那珂湊支部大会】

那珂湊支部に於いては、海浜公園のコキアが真っ赤に見事に染まり、沢山の観光客をも楽しませてくれた季節も終る、11月3日(文化の日)しあわせプラザで開催された。

合吟(弘道館にて梅花を賞す)・各会合吟・吟詠剣詩舞の部・自由吟・式典(市民憲章朗読・市長代理及び来賓の磯崎県議よりご祝辞)・招待吟詠剣詩舞・構成吟(吟詠雪月花「花を詠う」)・\*有名な漢詩に和歌俳諧歌等を交えた、心打たれる構成吟であった。閉めの万歳三唱有り、盛況の内に終了しました。

### 郷土芸能で社会貢献

民謡民舞連合会

事業担当 中島 俊江

連合会発足48年で恒例行事は、春まつりを県内の民謡タイトル者4名を招き市民と共に堪能できました。芸術祭秋まつり大会は、コンクール3部門・合唱の部が行われ、優秀者には、春の祭典で披露しました。

市の伝統文化継承事業の一環で学校を訪問し、民謡を体験する授業を行いました。今年度で2回目となり高野小5年生、佐野中1年生を対象に行い、少ない時間の中で子ども達は楽しみながら学んでいました。ボランティア活動では、福祉施設

の慰問演芸や、各種行事のアトラクション出演、市善意銀行への預託活動等が認められ、市社会福祉協議会(社協)より感謝状を受賞しました。社協の福祉バスを年2回提供して頂く機会があり、県内各地の民謡民舞等の視察研修会に利用し、今年は霞ヶ浦方面と筑波方面に行きました。



筑波山唄を筑波神社に奉演

#### 【芸術祭秋まつりのコンクール結果】

- 市長杯 宮永よし子(楽友会)
- 市教育長杯 加藤美恵子(秀恵会)
- 市議会議長杯 元木長次郎(小鈴会)
- 連合会会長杯 合唱の部(谷井会)

## 今年度の芸術祭鑑賞会

伝統文化連盟事務局長 鈴木 隆

市芸術祭「ふるさとの伝統芸術文化鑑賞会」は、メインテーマを「守るもの伝えるところ」とし、次代を担う若い皆さんに伝統的芸術文化を正しく理解し継承して頂くために、多くの児童生徒を招待して開催しました。そのような思いを込めて約1200年前の平安初期に作られたとされる「竹取物語」を、鈴木睦子さんによる朗読と、箏・尺八・鼓・大正琴等の効果音を交えて、雅の世界を会場の皆さんに届けることが出来ました。「煌めく若人たち」のコーナーでは、名曲「春の海」や「櫻さくら」を邦楽、日本舞踊の若手が舞台狭しと躍動し、会場は沢山の喝采に包まれました。なお、今回はこれまでの特別出演者に天台聲明の僧侶薩摩琵琶奏者、和楽器演奏家等に加わって頂き、「武士のあわれ」では海の藻屑と消えた武士を弔い、終幕の「名曲歌謡選集」では出演者と会場の皆さんが一体となって「故郷」を歌い幕を閉じました。



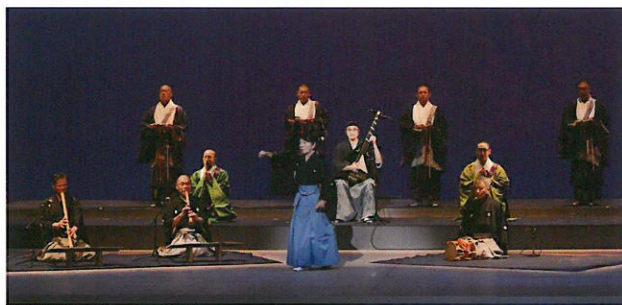
第2幕 煌めく若人たち（櫻さくら）



第1幕 かぐや姫



第2幕 銀のうろこ / 磯の風（磯節）



第2幕 武士のあわれ（薩摩琵琶・尺八・能楽・天台聲明）



終幕 思い出のメロディー（名曲歌謡選集）

## 華道・茶道部門

「いけばな」に想うつ

華道連合会会長

杉山 豊和

私達華道連合会にとり、最大のイベントでもあります「いけばな展」今年も盛大に迎えることができました。

ところで、最近はいくつかの自然災害による被害を多く耳にします。

地震での山崩れや、洪水のニュースをテレビで見ると大変胸が痛みます。

このような中、私達は花と向き合い、花に癒されながら毎日を過ごすことができ、大変ありがたく感じております。

今回も、大勢の皆様にご来場いただきありがとうございます。少しでも心の安らぎを感じていただけたら幸いです。



# いけばな展



池坊



草月流



龍生派



小原流



出瓶者のみなさま ▶



三溪園にて(旧天端寺寿塔覆堂)



表千家茶席



裏千家茶席

積み重ねの1年  
 茶道連合会会長 高野 新一  
 例年通り4月下旬総会を開催し、事業報告・収支決算・事業計画・収支予算等の承認を受け、今年の事が始まりました。  
 6月3日(日)天候に恵まれた良い日に「三溪園」への研修会を行いました。3名のガイドさんが付いて下さり、1時間半〜2時間近く暖かく汗が滲む中、本当に事細かく説明を受け、頭が下がる思いでした。  
 個人では、何回訪問しても得られない奥深い豊富な知識を吸収する事が出来、皆々満足・充実した時を過ごす事が出来、横浜市のボランティアの人々の情熱を受け止めて来ました。終わります。  
 11月11日(日)市文化会館において、連合会茶会を開催し、多くの参加をいただき、日々研鑽を積み重ねた能力を発揮して、盛況の中終了しました。31年は、10月27日(日)に開催しますので宜しく願います。  
 以後、春の祭典に参加して1年が  
 「三溪園」は、原三溪(本名：富太郎)が、生糸貿易により財を成し、175、000㎡に、京都や鎌倉等の歴史的に価値の高い建造物を移築し、明治39年に公開された庭園です。三溪は多くの芸術家を支援し、特に「前田青邨」「横山大観」「下村観山」等の多くの作品が制作されています。以後、昭和28年に横浜市に譲渡・寄贈されました。

## 文学部門

### 芸術祭参加俳句大会

俳句連盟会長 大野 ひろし

第43回芸術祭参加俳句大会が11月18日(日)市文化会館で開催された。

大会には982句が寄せられ過去最高となり、参加者も70名を越え盛会であった。

午前中の恒例の講演は、石倉夏生先生(朝日新聞栃木俳壇選者)より『加齢と俳句』という演題で頂いた俳句の世界に於いても高齢化は進んでおり、今後どう俳句と向き合っていくか、大変参考となる講演であった。午後からは席題「生」を詠み込んだ句会が行われた。

募集句に於いては、当会員の活躍は目覚ましいものがあり、県内有力俳人が沢山応募する中で上位を独占した。以下は会員の上位入賞句。

#### 「募集句」の部

石倉夏生講師特選 藤 洋子

白桃をすすりすすみし物忘れ

大野ひろし会長特選 藤 洋子

風と来て風と去りたる秋の蝶

県知事賞 大谷 純一

アルバムに少女の妻がみて涼し

県議会議長賞 塩谷きみこ

傘立てに捕虫網ある診療所

市文化協会会長賞 大野ひろし

炎天を降りて無言の電工夫



芸術祭参加俳句大会

#### 「当日句」の部

大野ひろし会長特選 吉元 絹江

長生きを持て余しをの日向ぼこ

県現代俳句協会会長賞 高橋 和彌

生きて来し証の指やずいき剥く

市俳句連盟会長賞 鈴木 良江

比べたりしない人生小六月

## 棋道部門

### 囲碁連盟1年間の活動

囲碁連盟会長 藤谷 十一

平成30年度の行事として、対外的には県北市町村親善囲碁大会(常陸太田市が幹事)、姉妹都市交流囲碁大会(当市が幹事)をまた内部行事として市民囲碁大会と連盟内の大会を行いました。

市民大会は毎年百人以上の参加者で行う大会で今年度の参加者は124名でした。近年は親善・友好を目的に日立市や常陸太田市などからの参加もあり盛り上がった催しになりました。また、小・中学生の子供たちも数名参加して級位クラスながら入賞する成績を収めました。高齢化解消が課題の囲碁界に明るい兆が現

れたといえます。

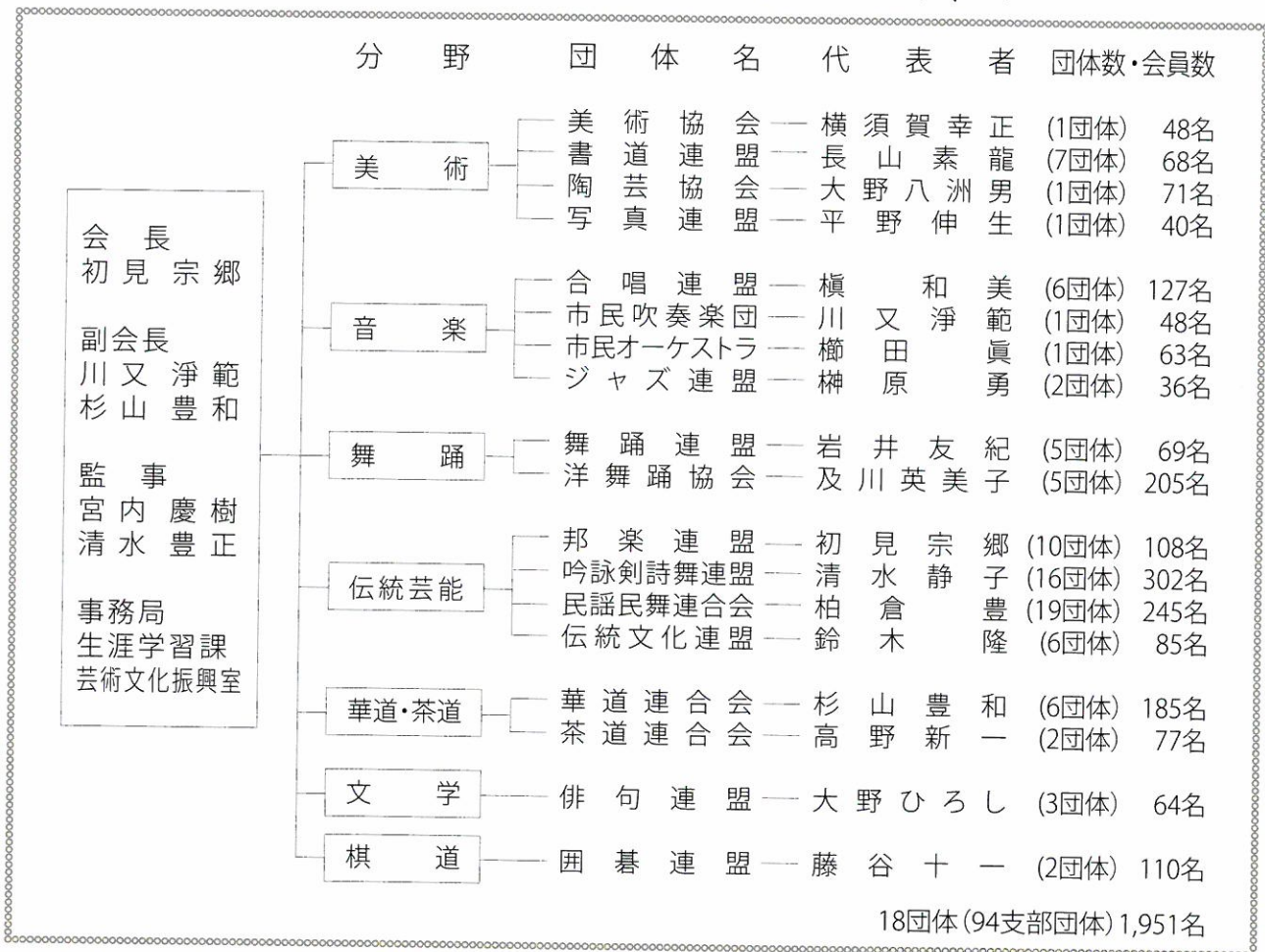
那須塩原市との姉妹都市交流大会は、今年度は第17回で毎年恒例の行事として定着してきています。当市が幹事の年には会場をいつも海の傍の宿泊所に行っているのが栃木県から訪れる相手チームのひとたちから喜ばれています。

毎週土曜日には、連盟内の大会またはミニ大会を行っています。これは研鑽の場としてレベルアップにおおきく役立っています。



市民囲碁大会

# ひたちなか市文化協会組織図



## 編 集 後 記

白亜紀も今回で第17号、平成最後の発刊となります。

各団体の活動報告を見ても、年々活動が活発になっております。中でも今年度、3回目となる一日体験教室は、市民の皆様にも、だいぶ浸透してきたよう、たいへん盛況でした。

編集にあたり、数回の編集委員会を開き、作成に当たりましたが、行き届かない部分も多々あると思っておりますが、ご容赦頂き、ご一読いただければ幸いです。

最後に、編集にあたり、多大なご助力を頂いた事務局に感謝申し上げます。

編集委員長

委員長 (市民オーケストラ) 榎田 眞

(写真連盟) 羽田 昭男

(舞踊連盟) 若柳 恵吾

(吟詠剣詩舞連盟) 埜 弘之

(華道連合会) 平野 洋子

事務局 芸術文化振興室

木田 伸子

白亜紀第17号  
編集委員

【春の祭典展示部門の様子】



会 報 白 亜 紀  
発行日 平成31年3月31日  
発行者 ひたちなか市文化協会  
事務局 ひたちなか市市民生活部生涯学習課  
芸術文化振興室（ふぁみりこらぼ内）  
TEL 029-272-6301  
FAX 029-272-9297